

新年に向けて

J A しずない女性部部長 木田 正子



新年明けましておめでとございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、新たな年をご家族お揃いで健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新ひだか町においても竜巻が発生し、春先の低温や夏場の高温など自然と共存している農家にとっては、不安の多い年ではありましたが、創意工夫することで、平年の作柄を確保することができました。

また、札幌市で行われた、TPP交渉参加に抗議し即時脱退を求める北海道総決起大会」に参加致しましたが、この国民の想いが本当に政府に届いているのだろうか、減反政策の見直しについても農家



を切り捨てようとしているのではないかと不安でなりません。

女性部活動では、一年間多くの活動を通して部員間の交流を行いました。

2年に一度の研修旅行では十勝方面へ赴き、そば打ち体験やアイスクリーム作り、ばんえい競馬の見学と美味しい楽しい2日間を過ごすことができました。

しずない農業まつりでは、好天に恵まれたこともあり、大勢のお客様にご来場頂き、そば、かぼちやしるしにも完売し、売上を伸ばすことができました。

A i b a 祭では、まだ農繁期である中、多くの女性部員の参加があり、レースでも世間話でも賑やかで楽しい交流の場となりました。

このような活動を通して、更に女性部活動の活発化を図っていくよう努めて参ります。

本年も組合員、各関係機関の皆様や女性部員のご協力、ご支援をお願い致し、実り多き一年となることをご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

J A しずない青年部部長 不動 達也



新年明けましておめでとございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年の青年部活動は、しずない農業まつりへの出店、ハロウィンについては、子どもたちや保護者の方々をはじめ多くの皆様にご来場頂き、地域のイベントとして、認識されていることを実感することができました。

また、新たな試みとして、小学生を対象に特産品のミニトマトを教材に食育出前授業を実施しました。苗の定植から芽かきと芯止め、そして、収穫までの指導を青年部員で行いましたが、不慣れな部分も多く、決して上手な指導ではな



ったことと思いますが、無事に収穫までを終えることができました。

その中で、私をはじめとした青年部員がなにより嬉しかったことが、子どもたちが真剣に取り組んでいる姿であり、今後子どもたちに「食と農業」について、学んでもらえるよう青年部員一同で協力し合い、地域に根付いた活動となるよう頑張っていきたいと思っております。

日胆地区農協青年部協議会は、昨年設立50周年を迎え、開催された記念式典と祝賀会には、当 J A 青年部からも多くの青年部員が出席しました。

記念式典では、協議会のこれまでのあゆみを振り返る映像の上映、祝賀会では、大勢の盟友と交流を深めることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今後日胆地区での活動を通じて、多くの盟友との交流を大切にしていきたいと考えています。

本年も組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にとりまして、良い一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。